

第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

【研究主題】 夢と志をもち、ともに未来を切り拓く児童の育成
～教育活動全体を通して、「学び合い」を楽しむ児童を育てる～

【研究の仮説】

児童が友達との学び合いの中で「伝えたい」「聞きたい」と思える手だてを講じ、教育活動全体を通して児童の発信・受信力を高め、相手とともに学ぶことの意義を知ること、他と関わりながら主体的に生きようとする気持ちを育むことができるだろう。

1 単元名 私の夢

2 単元の目標

持続可能な開発目標（SDGs）に関連する世の中の動きを知る活動を通して、世界の子どもたちや教育、貧困等の現状について問題意識をもち、その課題解決のために奔走する人々の思いや組織について理解し、国際社会に生きる一員としてどのように世の中と関わっていきたいか、自分にできることを主体的に考え、実践しようとする気持ちをもつことができるようにする。

3 単元の評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>①SDGs の目標一つ一つの意味を理解するとともに、それらは互いにに関わり合いながら存在していることに気付いている。</p> <p>②SDGs の具体的な内容について友達と話し合いながら考え、SDGs の17の目標の意義について理解している。</p>	<p>①SDGs が目指す目標について、どんなことを調べたらよいか考え、解決の見通しをもって調べる項目や方法を決めている。</p> <p>②SDGs をより理解するために自分で決めた項目に沿って必要な情報を、取捨選択しながら収集するとともに、内容について分析している。</p> <p>③SDGs について、自分が理解したことを、表現方法の特徴や表現の目的に合わせて分かりやすくまとめている。</p>	<p>①世界の現状や課題について、自分の知識や経験をもとに考えるなど探究活動に進んで取り組もうとしている。また、その考えを進んで友達と伝え合おうとしている。</p> <p>②自分も国際社会に生きる一員であることを自覚し、SDGs に関するこれまでに学習したことを生かしながら、持続可能な社会の実現に向けて自分には何ができるか考えている。</p>

4 単元とその指導について

(1) 教材観

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015年9月25日、ニューヨークで開催された国連総会「持続可能な開発に関するサミット」において、貧困、不平等、格差、気候変動のない持続可能な世界の実現に向けて、2030年までに目指すべき17の目標として示されたものである。この目標は、「貧しい人々を取り残され、地球環境は悪化しており、このままでは世界が立ち行かない」という強い危機感のもと作られた。2030年は、6年生が成人して社会で活躍している年である。この目標を今から自分事として意識することで、様々な社会の課題を知り、将来自分はどのように目標達成に貢献できると考えられる人間を育てたい。

(2) 児童観

総合的な学習の時間では、5年生の時には孀恋に関してそれぞれ興味のあるテーマを選び、調べ学習や現地にて資料を集め、スライド形式にまとめた。その内容を4年生に伝える活動を通して、自分の学んだ成果を相手に伝える意義を知ることができた。さらに、相手に伝わるように、言葉遣いを工夫したり、話し方を考えたりすることが必要であることも気付いた。自分が作った原稿を読むだけでは足りず、原稿から脱却して、その場の相手の反応を見ながら自分の言葉で伝えることが大切であると実感を持って理解した。6年生になり、あらゆる学習活動を通して友達と学び合う経験を重ね、自分の考えや意見を発信すること、相手の考えを受け取り、さらに自分の考えを再構築することを楽しみを感じるようになってきている。

本単元の学習を経てさらに互いに考えを交わし、学び合いをすることで自分の学びが深まることが実感できるようにしていく。

(3) 指導観

小学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編には、本単元に関する内容として、第3章第3節3(5)に位置付けられている。また、理科「地球に生きる」社会科「世界の中の日本」に関連して指導していくものである。

SDGsは17の目標に分かれている。児童はそれぞれ自分が関心のあるテーマを選び、まず個人で学びを進めていく。それを学級の友達と互いに関わり合いながら自分が学んだ内容を伝え、さらに学びを広めていく。この学習の仕方は社会科「私たちの暮らしと日本国憲法」で経験しており、非常に意欲的に取り組むことができた。自分が話す必然感が生まれ、相手の考えを聞く必要感をもつことができる。また、単元の後半は学び合いによってSDGsの17の目標を知った後、それらを視点として日本や世界で起きている事象を見つめる。個人によって様々な意見をもつことができる学習活動であるため、グループワークを基本として学習を進める。その中でさらに自分の考えや思いを発信し、相手の考えを受信する経験を重ねることができるだろう。

3月には様々な職業の方を呼び、今回、SDGsを通して考えたことを基に将来どんな職業に就くことで、自分が考えたことが達成できるかを思案できる場を設ける。

5 研究主題との関連

(1) 目指す児童像

- 自分の考えを、思いを込めて伝えられる児童
- 友達の考えに興味をもって聞ける児童
- 発信したり受信したりしたことから自分の考えを再構築できる児童

高学年の目指す児童像

友達との関わりを通して、自分の考えを深めることに喜びを実感できる児童

(2) 研究主題に迫るための手だて

高学年における手だて

- ①主体性を意識した学習活動の設定
- ②必要感、必然感に迫ったゴールの設定
- ③自分の思いを伝えたり相手の考えを聞いたりする活動の設定

① 柔軟な教育課程（他教科との関連）

本単元の内容は、児童が学習するどの内容にも関わってくる。特に、理科や社会科との関連が大きい。それらの教科をはじめ、これまで第六学年で取り組んできた学習では、「自分たちの生き方」を意識した授業を展開してきているため、この「持続可能な開発目標」の内容についてはスムーズに児童は理解をすることができると思う。そして、どの児童も共通理解のもと学習に参加することができ、主体的に学習に取り組める。また、SDGsを調べ、互いに交流し合う活動では自分の興味に沿って目標の一つを選び、伝え方も選択できるようにする。選択する活動が増えることでより主体性を意識した活動になることをねらう。

② 当事者意識をねらったゴール設定と指導計画の工夫

「持続可能な開発目標」は2030年までの達成を目指している。本学年の児童が成人し、社会で活躍する年齢になっている頃である。そのことを意識できるように、SDGsを一つの視点として多くの学習活動を展開する。そして、本単元のゴールを「これからの社会を生きる私たちは、どんなことを考えて生きていけばいいのだろう。」と当事者意識をもってまとめができるようにする。そして、SDGsを調べ終わった後に、過去、現在の事象をSDGsを通して考える活動を取り入れ、SDGsの存在意義と自分たちの行動の大切さに気付けるようにする。

③ 児童同士の意見の交流を促す学習形態の工夫

ア「4 corners ゲーム」

この活動は、互いがどのような考えの傾向にあるか可視化して交流しやすくすることをねらいの一つとしている。「私はパンよりお米が好きだ」などの簡単な質問から始め、「今の世界の状況は20年前よりも良くなっていると思う」「経済が発展するなら、自然環境を破壊しても仕方ないと思う」「今、日本は平和だと思う」など徐々にSDGsに関連した質問にしていく。

イ「ワールド・カフェ方式」

班で話した内容を他の班に行って伝えたり、また他の班から来た相手の話を聞いたりすることで、自分たちの考えを交流し深めることができるようにする。この方式は、自分が話す必然性を生み、また、自然と伝え合う雰囲気生まれるため、多くの意見を聞き楽しむことができる。

二	3 5 6 8 9 12	<p>自分が選んだ目標について詳しく調べ、情報を集めよう。</p> <p>○自分が選んだSDGsの目標について詳しく調べるための方法を選択する。</p> <p>○目標を調べ、メモをするなどして情報を集める。</p> <p>相手に伝えるための資料を作ろう。</p> <p>○調べたことを説明するための資料を作成する。</p> <p>互いに伝え合い、SDGsの17の目標についてみんなが理解できるようにしよう。</p> <p>○調べたことを全体で共有する。</p> <p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>◇あらかじめ調べる方法を確認しておく。</p> <p>◇難しい言葉は辞書を引くなど促し、調べたことを理解し、自分の言葉で説明をすることができるように支援する。</p> <p>[思・判・表] イ②</p> <p>SDGsをより理解するために自分で決めた項目に沿って必要な情報を、取捨選択しながら収集するとともに、内容について分析している。(ワークシート)</p> <p>◇画用紙、模造紙、プレゼンテーションソフトなど、自分の発表したい内容に合わせて選択できるようにする。</p> <p>[思・判・表] イ③</p> <p>SDGsについて、自分が理解したことを、表現方法の特徴や表現の目的に合わせて分かりやすくまとめている。(表現物)</p> <p>◇自分が選んでいない目標についても理解できるように、聴き方を工夫するよう伝える。</p> <p>[知・技] ア①</p> <p>SDGsの目標一つ一つの意味を理解するとともに、それらは互いに関わり合いながら存在していることに気付いている。(発言・ワークシート)</p>
三	13 14	<p>東日本大震災でSDGsの視点から活躍した人について調べよう。</p> <p>○東日本大震災でSDGsの視点から、活躍した人について調べる。</p> <p>○メモをするなどして情報を集める。</p> <p>SDGsの視点から、東日本大震災で活躍した人について意見を伝え合おう。</p> <p>○前時に調べた人についてSDGsを視点として活躍したことをグループで伝え合う。</p> <p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>◇児童が自分の夢と結び付けられるように人に着目する。</p> <p>◇SDGsを視点として、その人が取り組んだことを調べることで児童の視点を明確にする。</p> <p>◇グループごとにSDGsのカードを用意し、カードを用いながら自由に話ができるようにする。</p> <p>◇付箋などを用意し、児童が話したことを視覚的に残せるようにする。</p> <p>◇具体的な事象についてSDGsという視点から、活躍した人について話し合うことで今、よりよくなっていることに着目する。また、よりよくなっている背景には人の努</p>

<p>15</p> <p>16 2 組 ・ 本 時</p>	<p>○今の日本や世界に起きている事態について、SDG s の視点から活躍した人について調べる。</p> <p>○調べたことをメモするなどして、情報を収集する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>今の日本や世界の課題について、SDG s の視点から活躍している人について調べたことを伝え合おう。</p> </div> <p>○今の日本や世界に起きている事態について、SDG s の視点から活躍している人について、友達と意見を伝え合う。</p> <p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>力があることに気付くようにする。そのことが今後の自分の夢につながるように言葉かけをする。</p> <p>◇第 13 時と同じ授業の流れにすることで、児童が自ら活動できるようにする。</p> <p>◇今、日本を含め世界で共通している課題から、SDG s の視点で活躍している人について話し合うことで、現在も人々の惜しみない努力があることに気付けるようにする。</p> <p>[主] ウ① 世界の現状や課題について、自分の知識や経験をもとに考えるなど探究活動に進んで取り組もうとしている。また、その考えを進んで友達と伝え合おうとしている。</p> <p>[知・技] ア② 具体的な事象について友達と話し合いながら SDGs を通して考え、17 の目標の意義を理解している。(発言・ワークシート)</p>
<p>四</p> <p>17 1 組 ・ 本 時</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>単元のめあてに対して自分の考えを書き、友達と交流しよう。</p> </div> <p>○単元のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>これからの社会を生きる私たちは、どんなことを考えて生きていけばよいのだろう。</p> </div> <p>○これまでの学習を基にして、めあてについて自分の考えをまとめる。</p> <p>○<u>考えを交流する。</u></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇ワールド・カフェ方式で行う。 ワールド・カフェ方式とは、4、5人のグループに分かれ、テーマについて話し合う。その後、各テーブルに一人だけ残して他のメンバーは旅人と称して別のテーブルに行き、それぞれのグループで出されたアイデアを紹介し合う。旅人は再び元のテーブルに戻り、他のメンバーから得られたアイデアを持ち合い、参加者全員で得られたアイデアを共有する。</p> </div> <p>○<u>全体で共有する。</u></p> <p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>◇これから先も前時に行ったような災害などは起こるだろう、そんなときに何を大事に考えていくことが大切なのかを考えさせるようにする。</p> <p>◇ワールド・カフェの交流は、時間を区切り、2回移動ができるようにする。</p> <p>◇他のグループの意見も踏まえながら、自分達の班では何を大事に考えていくかをホワイトボードに書く。</p> <p>[主] ウ② 自分も国際社会に生きる一員であることを自覚し、SDGs に関するこれまでに学習したことを生かしながら、持続可能な社会の実現に向けて自分には何ができるか考えている。(発言・ワークシート)</p>

7 本時の学習（本時 16 / 17）

第6学年2組 33名 授業者

(1) 本時の目標

○SDGsの具体的な内容について、今の日本や世界に起きている事態から考え、SDGsの17の目標の意義について理解することができる。

(2) 本時の評価規準

SDGsの具体的な内容について友達と話し合いながら考え、SDGsの17の目標の意義について理解している。

(3) 本時の展開 ※下線部は児童が学び合う場面

時	○主な学習内容 ・考えられる児童の反応	◇支援と留意点 [評価規準] (評価方法)
3	<p>○前時までを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の際、人々の活躍をSDGsの視点から考えたね。 ・前の時間は、現在の課題についてSDGsの視点から活躍している人を調べたから、今日はそれを伝え合う日だ。 <p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>今の日本や世界の課題について、SDGsの視点から活躍している人について調べたことを伝え合おう。</p> </div>	<p>◇これまでに学んだことを振り返り、東日本大震災でSDGsの視点から活躍した人々とその内容について確認する。本時は現在の課題について考えることを想起できるようにする。</p> <p>◇グループごとにSDGsの17つの目標が書いてあるカードを用意し、カードを用いながら自由に話ができるようにする。</p>
5	<p>○現在の日本、世界が抱えている共通の事態について確認する。</p>	<p>◇模造紙や付箋を用意し、児童が話したことを視覚的に残せるようにする。</p>
12	<p>○<u>確認した事態と、その課題において活躍している人々について、SDGsの17つの目標を視点としてグループで課題を見いだす。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーについてはどうかな。 ・安全な水が使えないから手洗いが十分にできず、さらに感染が広がるのかもしれないね。そのために安全な水を供給するために働いている人々がいるよ。 	<p>また、タブレットを用いて互いの意見を閲覧できるようにすることも方法の一つとして提示し、意見交流の幅を広げられるようにする。</p> <p>◇それぞれのグループの考えを知るために、人数を半分に分けて説明者、聴衆と役割を分けて活動する、また、両方を経験できるよう活動を時間で区切る。</p>
22	<p>○他のグループと交流をする。</p>	<p>◇自分たちのグループで課題ととらえたことを全員が話すことができるように共有する。</p>
34	<p>○<u>自分のグループに戻り、交流したことを踏まえて再度話し合いを行う。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・別の班で出たこの意見を踏まえてもう一度考えたい。 	<p>[知・技] ア②</p> <p>SDGsの具体的な内容について友達と話し合いながら考え、SDGsの17の目標の意義について理解している。(発言・ワークシート)</p>
43	<p>○本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが大人になっても世界を維持していくためには何ができるだろうと思った。 	

11/27(金) 自分の夢

グループで考えたこと

前回まで

- ・東日本大震災では、避難所で _____ などをを行い、人々が快適に生活できるように努力している人がいた。
- ・復興に向けて活動を進める際、 _____ という点に気を付けている人がいた。

めあて

今の日本や世界の課題について、SDGsの視点から活躍している人について調べたことを伝え合おう。

【現在の世界共通の課題】

学習感想

- ・SDGsを通して人々の努力を知ることができた。
- ・目に見える課題だけを解決しようとしても、根本的な解決にはならないと思った。
- ・自分たちが大人になっても世界を維持していくためには何ができるだろうと思った。

7 本時の学習（本時 17 / 17）

第6学年1組 33名 授業者

(1) 本時の目標

○友達と話し合うことを通して、自分も国際社会に生きる一員であることを自覚するとともに、SDGs の考え方を基にこれまでに学習したことを生かしながら、持続可能な社会の実現に向けて取り組む必要のあることについて考えることができる。

(2) 本時の評価規準

自分も国際社会に生きる一員であることを自覚し、SDGs に関するこれまでに学習したことを生かしながら、持続可能な社会の実現に向けて自分には何ができるか考えている。

(3) 本時の展開 ※下線部は児童が学び合う場面

時	主な学習内容 ・考えられる児童の反応	◇支援と留意点 [評価規準] (評価方法)
10	○前時までを振り返る。 ○単元のためを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">これからの社会を生きる私たちは、どんなことを考えて生きていけばよいのだろう。</div>	◇前時までに学んだ SDGs の意義や今の日本や世界の出来事について振り返り、今後自分たちがどのように行動していったらよいか想起させる。
13	○それぞれがこれまでの学習を通しての振り返りをする。 ・SDGs について考えてみると、これまでの出来事はすべて無駄ではなかったのではないかと思えた。	◇これから先も大きな災害や世界を揺るがす危機は起こるだろう、そんなときに何を大事に考えていくことが大切なのかを考えるようにする。
20	○ <u>ワールド・カフェ</u> 方式で交流する。	◇7分間のうち3分間で一旦近くの児童の意見を聞く時間をとり、イメージできなかった児童も友達の考えを手だてに書けるようにする。
35	○最初のグループにもどり、情報共有し、まとめていく。	◇グループの一人がとどまり、残りの3人は他のグループに移動する。
40	○ <u>グループ</u> で出したまとめを全体に発表する。 ・これから生きていく上で自分たちにも自然にも地球にも優しい考えだと思う。 ・日本のことだけを考えていくのではなく地球規模で考えていく必要がある。	◇交流時間を8分し、前のグループで話し合った内容を共有するようにする。
42	○本時の振り返りをする。 ・広い視野で考える機会になった。	◇他のグループの意見も踏まえながら、自分達の班では何を大事に考えていくかをホワイトボードに書くようにする。 ◇正解があるものではないので、本時で考えたことをこれからの生活に活かして行ってほしいことを伝える。 [主] ウ② 自分も国際社会に生きる一員であることを自覚し、SDGs に関するこれまでに学習したことを生かしながら、持続可能な社会の実現に向けて自分には何ができるか考えている。(発言・ワークシート)

8 板書計画

11/27(金)	グループで考えたこと								
自分の夢	<table border="1"><tr><td data-bbox="778 295 935 421">ホワイトボード</td><td data-bbox="951 295 1107 421">ホワイトボード</td><td data-bbox="1123 295 1279 421">ホワイトボード</td><td data-bbox="1295 295 1449 421">ホワイトボード</td></tr><tr><td data-bbox="778 448 935 573">ホワイトボード</td><td data-bbox="951 448 1107 573">ホワイトボード</td><td data-bbox="1123 448 1279 573">ホワイトボード</td><td data-bbox="1295 448 1449 573">ホワイトボード</td></tr></table>	ホワイトボード							
ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード						
ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード	ホワイトボード						
東日本大震災でSDGsの視点から活躍した人々	今の日本や世界に起きている事態について、SDGsの視点から活躍した人々								
めあて これからの社会を生きる私たちは、どんなことを考えて生きていけばよいのだろう。	学習感想								
ワールド・カフェ方式	・SDGsを通して考えみて、自分達の狭い世界だけで物事を考えていくのではなく、広い視野で考えていくことが大切だと思った。 ・これから先、どんなことが地球で起こっていくかわからないが、どんな時も自己中心的に考えるのではなく、未来のことまで考え行動していきたい。 ・身近なことから取り組んでいきたい。								
時間は8分間で移動									
最後にグループでホワイトボードにまとめる									